

アルコール啓発週間イベント  
ASK 飲酒運転防止インストラクター養成講座

# オンライン「公開スクーリング2023」

助成：日本損害保険協会（自賠責運用益拠出事業）

参加  
無料

開催日時 ——— 9/14（木） 9/21（木）  
9/26（火） 9/28（木）  
10/3（火）

いずれも 13:30 ~ 15:30

定員 ——— 各 100 名  
(定員になり次第締め切ります)

申し込み — ASK のサイトから



※裏面もお読みください



## プログラム

### 【新作動画】

飲酒事故は止められなかったのか！  
〈被害者遺族の思い〉

### 【トーク】

職場対策、なにが必要？

山村陽一スーパーバイザーの経験を聴く

### 【アルコールの基礎講座】

動画視聴後ワーク&ディスカッション

アルコールと体質/アルコールの1単位と処理時間/  
酒気帯びのケーススタディなど

体質判定テスト/飲みすぎるのはどんなとき？/  
スクリーニングテスト/節酒の実践プラン

司会 塚本堅一

飲酒運転防止上級インストラクター  
ASK 認定依存症予防教育アドバイザー  
(元 NHK アナウンサー)

講師 山村陽一

飲酒運転防止インストラクター スーパーバイザー  
(元・JR バス関東会長)

今成知美

特定非営利活動法人ASK代表  
「職場の飲酒運転対策メルマガ」編集長

## 飲酒事故は止められなかったのか！ 被害者遺族の思いと〈アルコールの基礎講座〉

新型コロナの5類移行で、飲み会が戻ってきました。そして、飲酒運転が増加しています。

延期されていた白ナンバー事業所へのアルコールチェック義務化は、12月になる見込み。検知器導入に合わせて、飲酒習慣の見直しが必要と見られます。

緑ナンバー事業所、航空業界などでも、職場対策を風化させない対応が必要です。

ASKでは、飲酒運転防止インストラクター養成講座のスクーリングをオンラインで一般公開しています。

今年は、〈被害者遺族の思い〉と〈アルコールの基礎講座〉の2本立て。トークや動画、小グループディスカッション、体質判定や実践プラン作りと、趣向を凝らした2時間のオンライン研修です。

養成講座受講中の方だけでなく、どなたでも参加できます。

上記から、ご都合のよい日程をお選びください。

# オンライン「公開スクーリング 2023」

主催：特定非営利活動法人 ASK（アルコール薬物問題全国市民協会）

助成：日本損害保険協会（自賠責運用益拠出事業）

後援：内閣府／警察庁／法務省／国土交通省／厚生労働省／文部科学省／全日本交通安全協会／  
日本バス協会／全日本トラック協会／全国ハイヤー・タクシー連合会／日本交通安全教育  
普及協会／全日本指定自動車教習所協会連合会／日本自動車工業会

協賛：東海電子株式会社／中央自動車工業株式会社／フクダ電子株式会社／主婦会館

2008年開講の「ASK 飲酒運転防止インストラクター養成講座」は、全国に約6000人以上のインストラクターを認定してきました。各地で開催していた「スクーリング」は、コロナ禍に入った2020年度からZoomで一般公開にし、非常に好評です。そのため、アフター・コロナもオンラインを継続。今年度は、被害者遺族の思いを聴く新作動画のご紹介も予定しています。後半の〈アルコールの基礎講座〉は、インストラクターが研修を実施する上で、参考になる内容です。受講中の方々は、ぜひ、参加してください。

## 【ご参加にあたっての注意点】

◆受講にあたっては、ご住所に加えてメールアドレスのご登録が必須です。

ご登録のメールアドレスに、オンライン受講のためのパスワード等をお送りいたします。

◆この「公開スクーリング」はZoomを利用して行ないます。

◆ご参加にあたっては、下記のものが必要となります。

- ◎ PCあるいはスマートフォンまたはタブレット
- ◎ マイク（PCやスマホやタブレット内蔵のマイク可）
- ◎ カメラ（PCやスマホやタブレット内蔵のカメラ可）
- ◎ 動画がストレスなく視聴できるネット環境

◆事前に、Zoomのテストサイトで動作確認をしてください。

スマホ、タブレットの場合には、Zoomアプリのインストールが必要です。

◆「公開スクーリング」の途中で参加者側の機器や通信環境の障害で参加が中断された場合、接続トラブルの対応はできません。

◆資料は開催日前までに、参加者に送付いたします。



お問い合わせ先：特定非営利活動法人ASK

E-mail: ask-ddd@a-h-c.jp Tel: 03-3249-2551



この公開スクーリングは、SDGsの2つのターゲットに該当します。

- ターゲット 3.5：薬物乱用やアルコールの有害な使用を含む、物質乱用の予防と治療を強化する
- ターゲット 3.6：2030年までに、世界の道路交通事故による死傷者を半減させる